

## 令和3年度 四国大学 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム 自己点検・評価

### 【実施体制】

運営責任者	全学共通教育センター長
実施組織	全学共通教育センター
プログラムの改善・進化	数理・データサイエンス・AI 教育プログラム専門委員会
プログラムの自己点検・評価	数理・データサイエンス・AI 教育プログラム専門委員会 自己点検・評価部会

### 【数理・データサイエンス AI 教育プログラム履修状況】

大学全体 履修者数 146名 修了者数 127名

令和3年度 履修者・修了者の実績（大学）

学部・学科名称	入学定員	収容定員	履修者数	修了者数	履修率
文学部	115	482	43	34	9%
経営情報学部	145	554	64	58	12%
生活科学部	220	948	18	16	2%
看護学部	100	410	6	6	1%
合計	580	2394	131	114	5%

令和3年度 履修者・修了者の実績（短期大学部）

学部・学科名称	入学定員	収容定員	履修者数	修了者数	履修率
ビジネス・コミュニケーション科	80	160	10	9	6%
人間健康科	70	140	5	4	4%
幼児教育保育科	70	140	0	0	0%
音楽科	20	40	0	0	0%
合計	240	480	15	13	3%

### 【教育プログラム自己点検・評価結果】

#### 1. 履修率の向上

履修者増加のため、以下の取り組みを実施した。

- ・2021年度「AI・データサイエンス入門」受講生募集、データサイエンス Q&A チラシの配布
- ・各学部・学科のオリエンテーションにおける説明
- ・授業担当者からの関連授業を通じた案内
- ・プログラム修了者の中から成績優秀者を表彰し、本学ホームページに受賞者のコメントを掲載

令和3年度の履修率は、大学 5%、短期大学部 3%であった。今後、履修率の向上のために、本プログラムについて情報提供をしていく必要がある。

#### 2. 授業の実施方法・クラス編成

プログラムの必修科目「AI・データサイエンス入門」については、定員を設けているのが現状である。今後、クラス数を増加することにより、希望者全員が受講が可能となるよう整備していく必要がある。また、複数クラスを設けることにより、AI・データサイエンスに馴染みがない学生、より高度な学習を望む学生など、学生のリテラシーレベルに対応できるようなクラス編成を検討していく必要がある。

#### 3. 学生による授業評価（習熟度、授業態度等）

分野を問わず幅広い関心を育むため、日常生活における身近な AI として用いられている事例を紹介し、学ぶ楽しさを喚起する工夫をしている。また、多分野の教員が本プログラムに参加し、学生が所属する学部・学科と関連した AI・データサイエンスを活用した研究事例を紹介することで、学習する意義を理解させ、学びへのモチベーションにつなげている。

## 令和3年度 学生による授業アンケート集計結果(一部抜粋)

### ➤ 学修内容の習熟度

「社会人基礎力入門」を受講した約9割の学生が、「AI時代にも求められる能力」について理解でき、8割以上の学生授業前より力がついたと回答している。

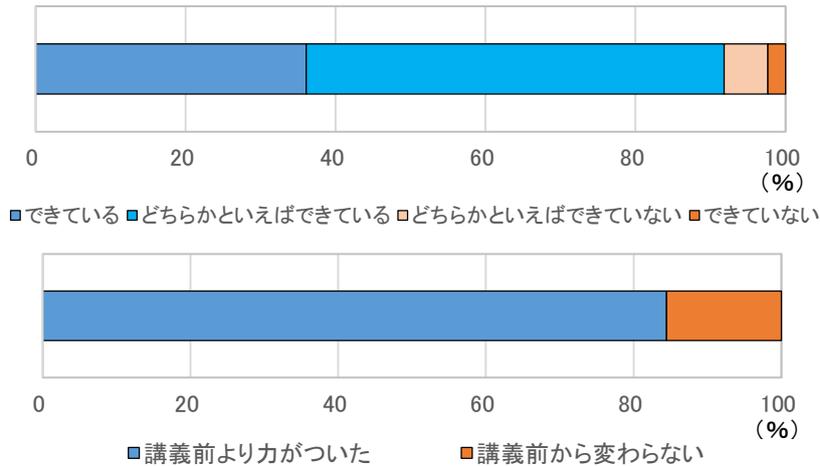


Fig1. AI時代に求められる能力について理解することができる (N=720)

### ➤ 学修意欲

「AI・データサイエンス入門」の授業については、8割以上の学生が意欲的に取り組めたと回答している。また、約8割の学生が今後もデータサイエンスやAIについて学びたいと回答している。当初は数学やパソコンが苦手であった学生も、15回の授業を終了した後では、「情報化が進む社会でAI・データサイエンスに関する多くの知識を得ることができた」「AI・データサイエンスは自分の身の回りにも存在し、活用されている身近なものであるという考えに変わった」等、専門分野に関わらず、多くの学生がAI・データサイエンスについて学ぶ意義を認識していた。

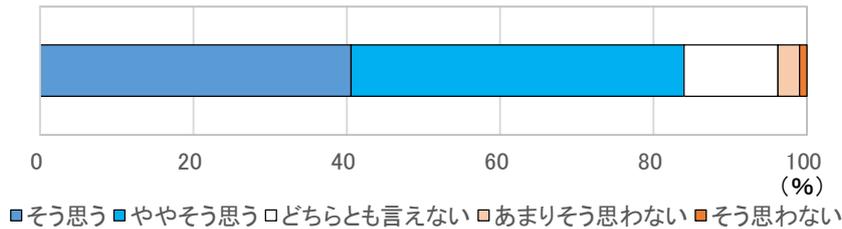


Fig2. この授業について意欲的に取り組めたと感じますか (N=106)

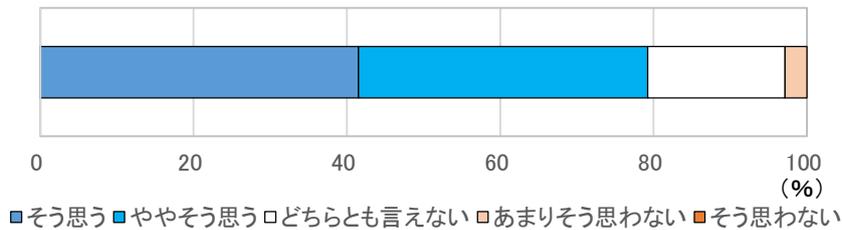


Fig3. 今後、データサイエンスやAIについてさらに学びたいと思いますか (N=106)

### ➤ プログラムの奨励意識

後輩等、他の学生に本プログラムを推奨するかについて、8割以上の学生が肯定的な回答をしている。

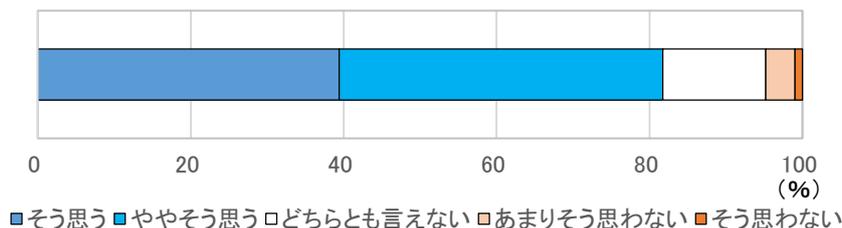


Fig4. プログラムを大学の友人や後輩に推奨しますか (N=104)